

## 令和4年3月22日（火）「第11回 地域づくり小委員会」が開催されました。

### ■開催概要

「第11回 地域づくり小委員会」が令和4年3月22日(火)に釧路地方合同庁舎5階第1共用会議室で開催されました。小委員会には、36名(個人18名、団体12名、関係行政機関6機関)出席されました。

議事では、はじめに櫻井委員より農業と釧路湿原の保全について話題提供いただきました。その後、令和3年度の地域づくり小委員会取組状況について委員会事案、事務局事案、委員事案の順に報告があり、それぞれに対する意見交換が行われました。



▲第11回 地域づくり小委員会(令和4年3月22日)

### ■地域づくり小委員会とは

地域づくり小委員会は、地域産業と連携した湿原のワイズユース(賢明な利用)により、湿原を保全・再生し、将来にわたり地域産業が豊かになる取組を進めるために設立されました。今後は、賢明な利用によって湿原の魅力度が向上する観光のあり方と、湿原の価値を活かした農業や漁業との連携のあり方について、議論を進めていく予定です。

## 1 農業と釧路湿原の保全について

標茶西地区農地・水保全隊は排水路や農道の草刈りなどを実施し、遊休農地の発生防止に取り組みながら農地の土砂などが湿原に排出しないよう、沈砂池の適正な維持管理や水質の保全に取り組んでいる。

平成15年に釧路湿原自然再生協議会が発足した頃の平成14年に国営総合農地防災事業が発足して、完成後の土地の保全管理が必要となったのに合わせて地域資源保全管理活動として平成20年に活動開始となった。

### ○活動内容の紹介(3点)

#### 沈砂池の土砂上げ

沈砂池にたまった土砂を排出する。サケの遡上と降下の時期を避け1月から2月とし、濁水処理をしながら行っている。

#### 草刈り

農地保全の一環で管理用道路と排水路で行っている。

#### 子どもたちの生き物調査

学校と協議しながら継続している。



### ○櫻井一隆委員

農業事業者の立場から、地域で進められてきた取り組みを紹介して頂きました。



### ○質疑応答

- ・この地域づくり小委員会が目指しているのは、まさにこのような活動だと思う。このような活動が活発になっていくことを目指していくことを示してもらった。
- ・生き物調査の中止要因となったクマの件は、リモートセンシングの技術でわかるか。
- 湿原ではシカの調査で使われている。ドローンも使ってモニタリング調査できる方法がこれからできていくのではないと思う。

### ○活動内容(写真で紹介)

(右上)土砂上げ、(下左から)草刈り、子どもたちの生き物調査。草刈りした場所は地域の方の散策路になっている。生き物調査で子どもたちは網の中の魚を見て喜び、大きな歓声をあげている。



委員事案、小委員会事案、事務局事案の説明に対して意見交換が行われました。

議論された主な内容

● 委員 ● 事務局

～カヌーガイドラインについて～

- カヌーガイドラインは、カヌーネットワークで新しくつくるホームページでも周知していきたい。
- 入川届の箱がカヌーポートに設置してあるが、QRコードを読み込んで届出して、必要なときにだけ提出するというのも良いと思うので、改めてやってもらいたい。
- ホームページ掲載の件はぜひお願いしたい。入川ボックスについては、個人情報管理、河川の自由使用の観点から河川管理者の対応は難しい。
- ポケット版について、車を置ける場所、川の危険箇所の情報があるか気になった。また、カワセミやタンチョウなどをどの付近で何時ごろ見られるかなどの情報はどうか。

- 駐車場、危険箇所は図面上に明記している。そのほかの情報については、載せられる情報が限られるので、ヒアリングしてきたなかで最も重要そうなものを抽出した。



○カヌーガイドラインポケット版イラストを多くし、現地での注意点や釧路湿原の特徴などを明記した。次年度の公表に向けて進める。

～かわたび北海道について～

- かわたびの取り組みはとても良い。コロナ禍でソロキャンプ、自転車文化などが進んでいる背景もあり、ぜひ、かわたび、うまたび、チャリたびで、さらに推進して欲しい。
- 国交省は運営をしたわけではなく川を利用するのをお助けしたというだけで、実際やっているのは標茶町と、ホースタウンプロジェクトという民間の方。皆さんが川を使ってこういうことをやりたいんだと言ってもらえれば、我々から、こういった使い方できますよとか、駄目なところは駄目とアドバイスできるので、ぜひ相談してください。
- 子供が健やかに成長するためには、外で太陽の光を浴びていないと目が育たないと言われていて、釧路湿原や釧路川の周辺は外に出かけて自由に走り回るのがに絶好の場所で、今この釧路の湿原の周辺に住む私たちには、非常に恵まれた状況が残っているということ。だから観光という言葉だけに縛られないで、観光をこえて、もっと人間の生きる生活の豊かさを少しでも増やすためにということを考えていくと良いと思う。



○かわたび北海道ホーストレッキングとカヌーを組み合わせた企画を紹介



第11回地域づくり小委員会 [出席者名簿 (敬省略)]

個人 [18名] 五十音順

- |      |      |      |
|------|------|------|
| 伊藤毅  | 櫻井一隆 | 照井滋晴 |
| 内山隆  | 清水信彦 | 中村研二 |
| 亀山哲  | 新庄興  | 日野彰  |
| 木塚俊和 | 高崎優子 | 平間清  |
| 木村勲  | 高橋忠一 | 吉中厚裕 |
| 坂井一浩 | 竹内晃  | 渡邊剛弘 |

団体 [12団体/13名]

- 子どもエコクラブくしろ [近藤一燈美]
- 釧路川カヌーネットワーク [小川清史]
- 釧路観光連盟 [長沼大平]
- 特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ [井上雅子]
- 一般社団法人 釧路観光コンベンション協会 [山田達也]
- 株式会社マーシュ&リバー [斉藤松雄]
- 釧路湿原国立公園連絡協議会 [元岡直子]
- 公益財団法人 北海道環境財団 [山本泰志] [安田智子]
- 特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所 [中村秀次]
- 特定非営利活動法人 鶴居タンチョウ元亀村 [佐藤吉人]
- 総合設備株式会社 [亀岡孝]
- 釧路商工会議所 [斎藤大]

関係行政機関 [6機関/7名]

- 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 [池田共実]
- 環境省 釧路自然環境事務所 [松尾浩司]
- 林野庁 北海道森林管理局 [南達彦]
- 釧路市 (釧路湿原国立公園連絡協議会 [元岡直子])
- 釧路町 [渡辺裕二] [牧野兼作]
- 鶴居村 [國安知也]

資料の公開方法

委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページにて公開しています。

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003ppq.html>

ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています  
電話・FAXにて事務局までご連絡ください。

釧路湿原自然再生協議会  
運営事務局

TEL(0154)23-1353  
FAX(0154)24-6839